

福寿草

新俳句人連盟
石川県支部

発行
野村芳泉

NO 79

2012年

4月1日

交流誌頂いた
支部

孟宗置賜
(山形)
神奈川支部
どんぐり会報
俳句人大分とよ
俳句人とやま
長野支部報

俳句人愛媛
支部報

花信(兵庫支
部)

「べらんめえ」
東京23区支部



雪割草

石川県支部の皆さんへ
―― 削りながらも一歩踏み込みを ――

寒さがぶり返しています。身体には充
分気をつけてください。

今回気になったことのひとつは、季語の
ダブリです。

季語はそのものが詩語ともなり、句の
中でポイントになります。それが二つ以上
あると感動が分かれ、一句の強さが分裂
してしまいます。

もうひとつ気をつけたいことは、一句を
構成していることばのひとつひとつを点検
し、イメージにダブリがないか、詠まなく
とも済むところを詠んでいないかを推敲
し、ムダを削りましょう。そこから表現の
余裕も生まれ、新たな表現の工夫も加
能になります。つまりもっと大切なこと
を表現出来ることにつながります。
そこから踏み込んだ表現も加能にな
ります。

ためらわず買う福島の春キャベツ

二〇一二年三月二十一日 工藤博司

4月紙上句会・5月句会のお知らせ

4月は紙上句会です。指定のハガキで15日
必着で投句して下さい。

先の句会で、5月の美川お帰り祭りに合わせ
吟行句会を予定しましたが、色々な行事で
日程がかさなり吟行句会を中止し、**定例会**
にします。

と き;5月19日(土)午後1時半～4時

ところ;白山市千代女の里俳句館 一階和室

〆切り:5月15日必着をお願いします。



妻育て玄関飾る君子蘭 関

二〇一二年三月句会

工藤博司選

草青む壁に原発NOポスター	仮設居のつづく孤独死別れ霜	ぼたもちの館の指先春の風	原発NO声駆け巡る春一番	冬もみじ彩におうほど朝の路地	振って振って葉菜の種子の音選ぶ	沈丁の香に誘われて遠回り	金沢城石に家紋や雪解風	被災者と原発ゼロへ雪の道	春耕の一蹴打っや土匂う	紅椿甕に溢れるディールーム	塩麴家族で人気春かぶら	闇汁や茸は汚染免れて	啓蟄やなくせ「原発」民集い	増穂浦潮騒を連れさくら貝	特売デー袋重たき春日かな
美苗	幸清	紅泉	もり	香月	嘉次	関	光意	十美	小雪	めぐみ	淳	淑江	南中	芳泉	建次